

日本退職教職員協議会
各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 竹田邦明

沖縄を再び戦場にさせない！！

「沖縄と連帯する日退教第13次沖縄交流団」団員の募集について (一般財団法人 全国退職教職員生きがい支援協会共催)

ロシアのウクライナ侵攻開始から 2 年半になりました。ウクライナでの戦争は、NATO 対ロシアの戦争の色合いがますます色濃くなってきています。ガザ保健当局は、イスラエルのガザ侵攻による死者は4万人を超えたと発表しています。

ウクライナ侵攻を機にアメリカは、日本に対して、NATO諸国並みの軍事費増大を求め、岸田政権は唯々諾々とアメリカに従って、防衛予算を大幅に膨らませ、「敵基地攻撃」能力を保有する「安保3文書」改定を強行しました。

財務・防衛の日米2+2会議(日米安全保障協議委員会)で、「自衛隊による嘉手納弾薬庫地区の追加的な施設の共同使用、日本の南西諸島を含む地域において、日米の施設の共同使用を拡大し、共同演習・訓練を増加させる」「弾薬の島嶼部への分散配置を追求、促進する」として、先島諸島のミサイル基地化と日米共同使用を可能とし、より沖縄への負担を増大させるとともに、危機をもたらす状況を作り出しています。

辺野古新基地予定地近くの陸上部から海にかけて「辺野古断層」と「楚久(すつく)断層」という 2 本の断層があります。この活断層は、地震や津波の発生源になり得るとして「弾薬庫や燃料庫があれば、あるいは核が持ち込まれたら、大惨事になりかねない」と警告されています。

活断層だけでなく、キャンプシュワブ東岸の大浦湾に面した埋め立て予定地の海底には「軟弱地盤」があります。地盤強度を示す「N 値」はゼロの「マヨネーズ状態」で、到底基地としての使用に耐えられない状態です。沖縄防衛庁は、沖縄県の話し合いの求めに応じず、軟弱地盤地区への工事を強行しています。

これまで、普天間飛行場所属のオスプレイやヘリの墜落、部品落下、不時着などの事故、トラブルが相次ぎました。米軍による性被害が後を絶ちません。

県は米軍に対策を申し入れ、県議会や市町村議会は事故発生たびに飛行中止などの抗議決議を可決し、米軍に抗議することを繰り返しました。

そのような状態が戦後70年以上も続いているのです。

米軍キャンプ・シュワブ、ゲート前では、今も連日、新基地建設に反対する市民が抗議活動を続けています。日退教は、普天間基地撤去・辺野古新基地建設反対の運動は「『沖

縄の運動』ではなく、私たちの運動として、ひきつづき両退教とともにとりくみます。」と方針化しました。

日退教はこれまで12次にわたる「沖縄と連帯する日退教交流団」を組織し、現地で新基地建設に反対し行動する県・高退教の仲間、県民・支援者とともに短時間ではありますが、ともに行動してきました。

このような情勢の中で、下記のとおり、第13次沖縄交流を企画しました。各単会の皆様の積極的な参加を要請します。

なお、この交流は一般財団法人退職教職員生きがい支援協会との共催です。

記

「沖縄と連帯する日退教第13次沖縄交流団」

「基地の現状を学び、辺野古新基地建設工事に抗議しよう」

1 日 程 2024年12月2日（月）学習会

会 場 教育福祉会館 那覇市古島 1-14-6 ゆいレール「古島駅」下車

13:00 受付

13:30 学習会（内容検討中）

17:30 交流懇親会

12月3日（火） 基地巡り・辺野古キャンプシュワブゲート前抗議行動ほか

8:00 集合・出発（沖縄県庁前）

各米軍基地周辺（普天間基地周辺）

辺野古（キャンプシュワブゲート前）

16:00 那覇着（県庁前）解散

2 募集人員 20人

3 集合・解散 現地(教育福祉会館)集合、現地(沖縄県庁前)解散となります

4 交通・宿泊 現地までの交通手段、宿泊は各自ご手配ください。

5 参加費 10,000円（バス代、昼食代、会場費、講師謝礼、懇親会代、実費精算）

6 申込締め切り 申し込みは各単会でまとめて日退教へ 11月15日（金）締め切り

7 その他 日程詳細は参加者に連絡いたします。

以上

「沖縄と連帯する日退教第13次沖縄交流団」

2024年12月2日（月）～3日（火）

参加者申込み名簿

申し込み日 2024年 月 日

単会名	
連絡責任者	

参加者お名前（年齢）	(〒) 住 所	電話《できれば携帯》	Fax
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		

注 「第13次沖縄交流団」参加者申し込み締め切りは11月15日（金）です

日退教 FAX 03-5275-2081

Mail nittaikyo@gmail.com